

正組合員と准組合員が一体となって、地域農業を守り発展させていくJAの使命を全うするため、総代会に於いて、宣言が採択されました。

自己改革取組宣言

JAひだにおける自己改革の取り組みについては、これまでに実施した全国一斉の「全組合員調査」やJAひだ独自の「組合員・利用者アンケート」等において、多くの正組合員の皆さまから、取り組みへの一定の評価と自己改革に一層期待するとの声をいただくことができました。

また、多くの准組合員の皆さまからは、総合事業の必要性や地域農業を応援したいとの声をいただくことができました。

JAひだでは、こうした組合員の皆さまの声に答え、正組合員と准組合員が一体となった組合運営を実現するため、JAひだの目指す姿のひとつとして、「農を機軸とする准組合員のメンバーシップ強化」を掲げ、准組合員を「地域農業の主人公である正組合員の営農を支えるとともに、協同による地域の活性化を正組合員と共に担う方」と位置付けています。

今後も、准組合員の組織化を進め、その声を経営に反映すると共に、准組合員が引き続き事業を利用することや、協同活動に参加することを進めていきます。

今後とも、JAひだは、地域になくってはならないJAであり続けるため、持続可能な経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、自己改革に継続して取り組んでいきます。

以上、宣言する。

令和3年6月24日

飛騨農業協同組合 第26回通常総代会